

STEP3

発展

その他の前置詞の意味と用法



1 about / around

1 about

基本イメージ：…の周囲に

20 I was just walking **about** the town aimlessly. 931

ぼくはただあてどなく街を歩き回っていただけだ。

21 I read an article **about** Korean pop music. 932

私は韓国のポップスに関する記事を読んだ。

もともとは「…の周囲に」というイメージで、そこから「あたりをあちこち」や「そのものの近く」という意味になり、時間や物事の関係性へと拡張されて「おおよそ、だいたい」という意味になった。現在は21の「…に関して（周辺情報を含む）」という意味が主流。



あるものの周囲に
about

ここが Point! what S is (all) about 「S の本質（最も重要な点）とは何か」

【目的・本意】を表す about の用法で、Business is (all) about making money. (ビジネスの基本「本質」は儲けることにある) のように使われる。これを用いて

I began to understand **what** life **was** really **all about**.

私は人生の本質が一体何なのかを理解しはじめた。

といった形で用いられることが多い。

2 between / among

1 between

基本イメージ：2 つのものの間に

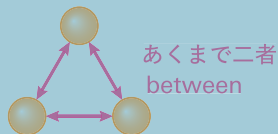


23 John, please sit **between** Michiko and Sayumi.

934

ジョン、美智子と紗由美の間に座ってください。

〈between A and B〉で、「A と B との間に」を表す。ただし、3 つ以上でも、そこに含まれる 2 つのものの間の関係を意識する場合には a tournament **between** four teams（4 チーム参加のトーナメント戦）のように使われる。



類例 You know, this is just **between** you and me [**between** us].

いいこと、これはぼくと君との間だけの秘密だからね。

【!】 前置詞の目的語が主語と同一指示でない場合は、再帰代名詞は用いない。

× You know, this is just **between** ourselves.

※ただし、同一指示の場合は再帰代名詞を用いる。

○ We kept the information **between** ourselves.

2 below

基本イメージ：ある位置・基準よりも下に

30 See the chart **below** for further information.

941

詳しい情報は下部の表をご覧ください。

above の反意語で、上にあるものに接触することなく「…の下に、
…より低いところに」の意味を表す。


below

類義 above / below と over / under の違い

above / below には over / under とは異なり、「真上・真下」という含意はない。また、「一定の基準より多い・少ない」ことを表す (=more than / less than) ときには、over / under が用いられることが多いが、children **above** six (years of age) (6歳を超える子ども＝7歳以上の子ども)、10°C **below** zero (摂氏マイナス10度) のように、above / below を使うこともある。特に温度の場合は、垂直の温度計をイメージすると above / below を使うほうが普通。

3 opposite

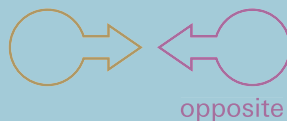
基本イメージ：互いに向き合って

34 The post office is **opposite** the supermarket.

945

郵便局はスーパーの向かいにある。

「通りの向こう側」と言いたい時は, opposite the street とはせず, across the street となる。または on the opposite side of the street というように形容詞として使うこともできる。



※ opposite は対称的に相対する 2 つのものに, across from は間を隔てているものを意識しながら用いる。

Akira lives opposite to us. アキラはうちの向かいに住んでいる。

Akira lives across the street from us.

アキラは通りを隔ててうちの向かいに住んでいる。

類例 They sat **opposite** each other. 彼らは互いに向き合って座った。

Grammar in Writing

密接な関係性を表す前置詞 of

前置詞の中でも、特に用法の幅が広いのが of です。1つの原理や規則ですべての用法を説明するのは難しいのですが、典型的な部分だけでも理解しておく、使い分けで迷うことが少なくなると思います。

of の基本的な意味の 1 つが、「全体を構成する一部分」です。たとえば、「椅子の脚」と言いたい場合、

1a) the legs of a chair

1b) the chair's legs

1b) よりは 1a) の方が普通の表現です。なぜならば、「椅子の脚」は「椅子」という全体を構成する一部分だからです。これに対し、「王女様のカバン」だと、

2a) the bag of the princess

2b) the princess's bag

2a) は不自然で、普通は 2b) を使います。「王女様のカバン」は「王女様」を構成する一部分ではなく、王女様の単なる所有物だからです (a bag of the princess's = one of the princess's bags であれば、the princess's bags の一部としての a bag なので、of が使えます)。

さて、この「全体と部分」の関係の延長で、of が何らかの意味での密接な関係性を表すことがあります。

2c) the birth of the princess 王女様の誕生

形は 2a) と同じですが、人間にとって誕生することは、当然密接な関係のあることです。その関係性を of が表しています。

3a) a student of biology 生物学を専攻する学生

3b) a student at ABC University ABC 大学の学生

3a) の根底には、study biology という目的格の関係があります (VO 関係)。student とは、何かを study する人のことですから、その人と専攻内容とは切り離せない密接な関係にあります。この密接な関係性を of が表しています。これに対して 3b) は、「ABC 大学の学生」につられて of を使いたくなりますが、study at ABC University という「活動の場」を表します。student にとって、どこの大学で学ぶかというのは、専攻内容ほどには密接な関係にはないと考えられます。したがって、こちらは of を使いません。

そして、

4) the resignation of the prime minister 首相の辞任

5) a person of determination 意志の強い人

4) には、The prime minister resigns. という主格の関係性があります (SV の関係)。

役職と辞任の関係は密接です。5) では、ある人を特徴づけるほどの性質として **determination** (決心・強い意志) が挙げられているわけで、やはり、**person** と **determination** のを性質を表しています。

ただ、冒頭で述べたように、この考え方も万能ではありません。関係が密接だからといって必ず **of** が使われるわけではなく、また、日本語では「A の B」という形式であっても、他の意味を表すために **of** 以外の前置詞を用いる例もたくさんあります。

5a) ゴッホの絵 a painting **by** Van Gogh [→「動作主」を表す]

5b) 外交の専門家 an expert **in** foreign affairs [→「分野・領域」を表す]

5c) 化石燃料の代替物 an alternative **for** fossil fuels [→「代用・交換」を表す]

最終的には覚えなければならないのですが、1つひとつの事例を見たときに、立ち止まって、「ここではなぜこの前置詞が使われるのだろうか?」と考えるようにしてください。また、辞書を引いた時に、語義の冒頭に掲げてある【 】や『 』に囲まれた部分の記述を参考にするようにしてみましょう。理解することが、覚える手助けになります。
